

第 11 回 原子力安全に関する社外評価委員会 議事要旨

1. 開催日時 2025 年 4 月 4 日（金） 13 時 30 分～14 時 30 分

2. 開催場所 日本原子力発電（株）本店会議室

3. 出席者

＜委員＞ 北村委員長、竹田副委員長、大堀委員、吉田委員、渡部委員、長谷川委員

＜対応者＞ 村松取締役社長、劔田取締役副社長、吉田取締役副社長、牧野取締役副社長、
石坂常務取締役、吉田常務取締役

4. 要 旨

本委員会では、2024 年度実施した計 3 回の実務観察及び意見交換の対応状況を確認した。

第 1 回（本店：2024 年 4 月 4 日）

○敦賀地区 地域の皆様とのコミュニケーション活動

○安全文化の状態を把握するための活動

第 2 回（敦賀：2024 年 10 月 24 日）

○各種発電所所内会議の運営

○エンジニアリング能力強化の取り組み状況

○運転員のパフォーマンス改善活動

第 3 回（東海：2025 年 1 月 27 日）

○各種発電所所内会議の運営

○火災発生防止に向けた取り組み

○情報公開の改善

また、2025 年度の活動計画を確認し、マネジメントレビューやパフォーマンスレビューで抽出した課題の改善に係る「実務観察及び意見交換」を実施し、当社の自主的かつ継続的な安全性向上への取り組みに対して外部オーバーサイトとして改善に向けた意見や助言等により支援を受けることとした。

今回の委員会では、東海第二発電所中央制御室内制御盤火災に係る事項として、以下の助言を受けた。

- ・ある操作を行った場合のシステム全体の挙動を理解する必要がある。経営層は、安全文化の行動指針の「継続的な学習：CL」として、設計思想等の学習の機会の付与に努めることが必要である。
- ・基本的な事項が伝わるためには、自らの経験を元に自分の言葉で具体的に伝えることで相手の理解が深まる。経営層は、同じ様な事が起こるかもしれないとの攻めの気持ちを社員が持ち、安全最優先の行動原則の徹底につながるようなコミュニケーションをとっていただきたい。

以 上

原子力安全に関する社外評価委員会 委員名簿

	氏名	所属・役職等
委員長	北村 正晴	東北大学 名誉教授 (株)テムス研究所 代表取締役所長
副委員長	竹田 敏一	大阪大学 名誉教授
委 員	大堀 道広	滋賀県立大学環境科学部環境生態学科 教授
委 員	吉田 道雄	熊本大学 名誉教授
委 員	渡部 孝男	元 東北電力株式会社 副社長
委 員	長谷川 尚子	文教大学人間科学部心理学科 准教授